



ある日、校長室の棚を整理していたら青色の冊子がふっと目に留まりました。手に取って見たところ、表紙には大きく【常に新たに】のロゴがあり、上段には「舞鶴市立白糸中学校創立50周年記念誌」、下段には平成9年度と書かれていました。ページをめくっていくと旧校舎の上空写真、校歌完成の経緯、歴代校長・PTA会長・卒業生より、など白糸中学校の歩みが記されていました。昭和37年の栗野校長の時には、全校生徒は1700人を越え、3年生は13学級、修学旅行にはバス13台を連ねて東京に行ったとも記されていました。現在の全校生徒は約460人で、現3年生は5学級、5台で修学旅行へ行く予定ですが…当時の修学旅行団の規模の大きさは想像を超えます。

そんな風に見終えてから校長室に飾られている、歴代校長の写真を見ると、今まで以上に歴史を感じ、身が引き締まる気持ちになりました。白糸中学校は、昭和24年1月9日に3つの中学校が統合し発足しました。今年で77年度目を迎えています。下記(※敬称略)は、歴代校長の方々と、現在、私で22代目となります。表紙画 **版画家 田主 誠 氏 作**

- 第1代【島村 実】
- 第2代【木船 貞次】
- 第3代【栗野 悟宗】
- 第4代【荻野 宇吉】
- 第5代【梅原 三郎】
- 第6代【亀田 宏起】
- 第7代【水島 祥介】
- 第8代【梅垣 一郎】
- 第9代【関岡 敏信】
- 第10代【上原 幸一】
- 第11代【青木 信一】
- 第12代【石田 卓】
- 第13代【井上 憲悟】
- 第14代【水谷 昭】
- 第15代【後野 文雄】
- 第16代【遠藤 淳】
- 第17代【亀井 雅之】
- 第18代【中岡 通】
- 第19代【秋原 栄人】
- 第20代【廣瀬 直樹】
- 第21代【秋原 栄人】
- 第22代【松林 周一郎】



歴代校長の方々をはじめ、諸先生方の教育への情熱と歴代のPTA役員、会員、地域の皆様方の力強い御支援と御協力で白糸中学校の素晴らしい伝統が受け継がれていることに敬意を表し、この良き伝統を誇りとして【常に新たに】の精神で日々の教育活動に邁進していきたいとあらためて感じさせていただきました。保護者の皆様、地域の皆様には今後とも末永く白糸中学校への御協力と御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。また、白糸中学校にお越しの際には、お声をかけていただき、校長室にお立ち寄りいただいて歴代校長先生の写真やPTA会長様のお名前札、今回ご紹介しました50周年記念誌等見ていただけたらと思います。

校長 松林周一郎 教職員一同



日	曜日	6月学校行事
1	土	市民スポーツ祭
2	日	
3	月	
4	火	SC
5	水	修学旅行1日目
6	木	修学旅行2日目
7	金	修学旅行3日目
8	土	
9	日	
10	月	耳鼻科検診(3年生)
11	火	熱中症講座(2・3年生) SC
12	水	ノ一部活 いじめアンケート 50分×5限
13	木	
14	金	二者懇アンケート
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	第1回市内実力テスト(3年生) 睡眠講話(1年生)
19	水	二者懇談① 挨拶運動(PTA見守り委員) 16時完全下校
20	木	二者懇談② おでかけほっと
21	金	二者懇談③
22	土	中丹陸上 みんなでコラボin中丹
23	日	
24	月	二者懇談④
25	火	二者懇談⑤ SC
26	水	50分×5限 学校徴収金引落日
27	木	二者懇談⑥ 非行防止教室(1・2年生)
28	金	二者懇談⑦ 薬物乱用防止教室(3年生)
29	土	
30	日	

日	曜日	7月の主な学校行事
13	土	中丹総体
14	日	中丹総体
19	金	終業式、市長の給食講話

挨拶運動(5月2日~24日)を振り返って

4・5月の生徒会の活動テーマは「つながる」でした。まずは、「挨拶でつながろう」と企画をされた挨拶運動は約3週間続きました。昇降口のホールに並んで、登校する生徒に挨拶をするメンバーは、委員会や部活動、学年ごとのボランティアと、日替わりで多くの生徒が参加した運動でした。どの日も、驚くほど元気な挨拶がホールに響きわたりました。運動期間が終わっても、人とのつながりを意識した気持ちの良い挨拶を続けていきましょう。



各種大会・コンクール等の結果		
第56回若丹中学校バレーボール6人制男女選手権大会		
女子の部Bゾーン	優勝	白系中学校
男子の部	準優勝	白系中学校

亀岡保津川ライオンズクラブ杯亀岡女子ソフトボール交流大会		
中学校の部Aゾーン	優勝	白系・和田中学校

第41回加藤杯中学生ソフトテニス大会		
女子上級の部	優勝	新谷 好未・田口 紗羽ペア
	2位	廣澤 優美・濱田 遥華ペア
	3位	大野 菜々美・堀内 唯愛ペア
女子下級の部	2位	登 梨音・草木 栄里奈ペア
男子下級の部	3位	今井 辰弥・木南建星ペア

アンネのバラ~平和のバトン~

終戦の直前に收容所内で15歳で亡くなったアンネ・フランク。ベルギーの育種家を作ったオレンジからピンクへと花の色が変わる新種のバラを「アンネ・フランクの形見」と名づけ、平和を願うバラとしてアンネの父に贈ったのが「アンネのバラ」の始まりです。アンネの父と出会った日本人がアンネのバラの苗木数本を譲り受けたのですが、そのうちの1本を託された綾部の山室さんが接ぎ木をして増やし、舞鶴・綾部・福知山の中学校に手紙を出し、希望のあった学校に苗木を贈られました。しかし、長い年月が経ち、残念ながら、道徳の教科書にも取り上げられている「アンネのバラ」が、白系中学校にもあることを知っている先生や生徒はほとんどいませんでした。アンネのバラはあっても、アンネのバラを育てることを通して、アンネと同世代の中学生に平和について考えてほしい、という思いは残念ながら伝わっていない状況だったのです。そして、今春、アンネのバラが枯れてしまいました。

昨年(2023)の12月に、父の遺志を受け継ぎ活動しておられる綾部の山室さん宅で開催された接ぎ木の会に参加し、活着に成功した苗木1本を本校の教員が譲り受け、それを新しい平和のバトンとして、生徒会のメンバーと鉢に植えました。ただ、バラを育てるだけでは意味がありません。このバラに込められた思いをどう繋いでいくか、アンネのバラを平和のバトンとして、次の世代へと繋いでいく方法を生徒会と一緒に考えていきます。



昨年5月のアンネのバラ
2014.3~2023.3

新しい苗木
2024.5.13~

ST5の恩送り大作戦~感謝のバトン~

先日、行われた市民スポーツ祭では、白系中の生徒も、様々な施設を使用させていただきました。その施設を整え、掃除をしてくださっている方がいるからこそ、全力で試合ができたことに感謝をして、会場やトイレをきれいに使用し、来た時以上に整えて、トイレトペーパー(=感謝のバトン)をそっとトイレに置いて会場を後にしました。感謝のバトンのスタート地点を白系中学校とし、このバトンが繋がり、感謝を伝えあう社会を作るのが「ST5の恩送り大作戦」です。各部活動の部長と作戦会議を開き、この活動に賛同する部長が中心となって、6月1日を作戦の初日として取り組むことになりました。始まったばかりのこの活動、これからも静かに続けていきます。(※大会の結果は7月号に掲載します。)

